

令和4年より、加古川商工会議所で新型コロナウイルス感染症をはじめ円安やエネルギー高騰の影響を受ける事業所支援のための相談員としてお越しいただいている中小企業診断士の小西先生にお話を伺いました。

**中小企業診断士を目指そうと思っ
たきっかけ**

中小企業診断士に登録して20年目になります。元々は、会社員時代に新製品のマーケティング業務に携わることがあり、マーケティングが個々の能力に関わらず成果に繋がることが面白かったので、マーケティングの専門家を目指す中で、中小企業診断士の資格を取得しました。

個別経営相談会の相談員

小西先生に聞く

経営支援の現場について



事業環境変化対応型支援事業
個別経営相談会 相談員
ケイ・コンサルティングサービス 代表

中小企業診断士 こにし 小西 まさのぶ 正伸 さん

経営者の人生に関わっていく仕事

実際に支援の現場に入って大変だったことは、事業承継の相談で親子関係が対立してしまっていて、スムーズにバトンタッチできるように関係修復に努め、丁寧に親子間のヒアリングを行ったり、銀行などの関係機関の調整を図ったり苦労したことがあります。また、経営相談の場合は、改善提案をすることにありますが、それは事業所の現状を否定することに繋がります。もちろん改善案として受け入れてくれる方もいますが、人格否定と捉えられてしまうこともあります。しかし、多くの事業所を支援していく中で、深い信頼関係を構築していくことは、その人の人生に関わっていくことである思い「経営者の人生・人格に敬意を払う」をモットーに上からでも下からでもない水平目線の支援に努めています。

補助金相談だけでなく、各種経営相談にもお越しく下さい！

自分自身の価値は、事業所の方の「考え」や「想い」を言語化し、答えを引き出してあげることにあるので、専門とするマーケティング相談では、ホームページやチラシの内容について、第三者にはどのような印象を与えるのか、看板やのぼり旗に掲載する文言は

どんなものが良いのか、普段は独自開発したチェックリストを用いて「お店の見た目診断」を行ったり、補助金相談の場合は公募要項等、出来るだけ客観的な判断基準を用いて支援にあたっています。

また、事例収集のためのフィールドワーク（街歩き）も欠かさず行っており、特に人気店や流行りのお店は調査していますので、加古川の街をブラブラしている所に出くわすかもしれません(笑)

今までに多くの地域で支援を行っています。加古川の経営者さんは、温厚で誠実、一生懸命な方が多いと感じます。引き続き個別経営相談会を実施しているため、補助金相談だけでなく、補助金採択後の販路拡大支援や、通常の経営相談等でもぜひ利用ください。

「お店の見た目診断」自動車向け チェックリスト例（一部抜粋）

【発見 150m】

- ・0.5秒で業態がわかるか？
- ・看板は風景に埋没せず、目立っているか？

【注目 50m】

- ・「色と形」だけで店舗コンセプトが伝わるか？